

講師紹介

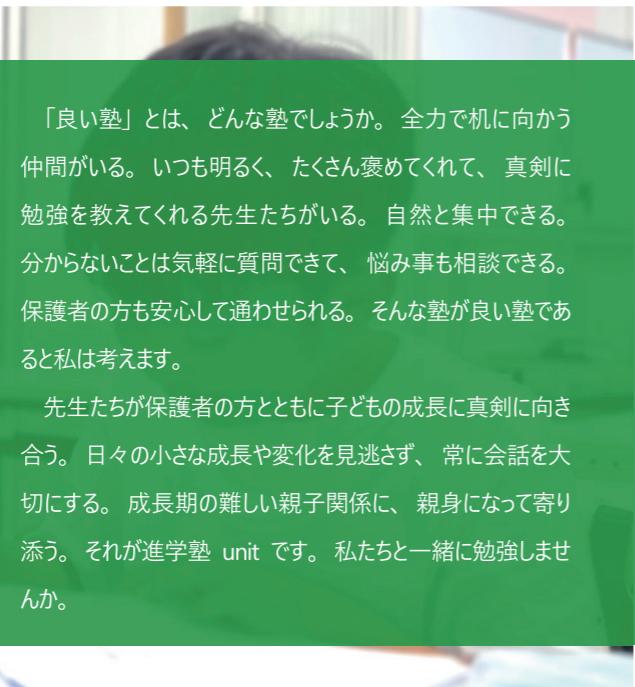


塾長

福永和也

略歴

- ・大手個別指導塾で10年にわたり指導（うち教室長を5年）
- ・大手集団授業塾で8年にわたり指導（うち校長を5年）
- ・社内で行われる「保護者満足度アンケート」において5年連続で1位を獲得
- ・全国模擬授業大会に社員代表として5年連続出場



「良い塾」とは、どんな塾でしょうか。全力で机に向かう仲間がいる。いつも明るく、たくさん褒めてくれて、真剣に勉強を教えてくれる先生たちがいる。自然と集中できる。分からることは気軽に質問できて、悩み事も相談できる。保護者の方も安心して通わせられる。そんな塾が良い塾であると私は考えます。

先生たちが保護者の方とともに子どもの成長に真剣に向き合う。日々の小さな成長や変化を見逃さず、常に会話を大切にする。成長期の難しい親子関係に、親身になって寄り添う。それが進学塾 unit です。私たちと一緒に勉強しませんか。



生徒のことを常に思う

暇さえあれば四六時中生徒たちのことを考えています。勉強や成績のこと、コミュニケーションの取り方、授業での話し方や伝え方など、少しでも生徒たちの学びになればと考えています。

「教える」という仕事を通じて、私自身が教わることばかりです。関わる全ての生徒・保護者の方々に感謝しています。



関わる人たちを笑顔にしたい

塾講師一筋で20年以上。どうすれば生徒たちの学力を上げられるか、どうすれば生徒たちが楽しく塾に通えるかを日々考えています。学習指導を通じて、生徒・保護者・スタッフを笑顔にしたいと考えていますが、実際のところ、生徒たちとのやりとりを通じて、こちらが笑顔になり、日々の元気や活力をもらっています。



趣味：将棋

2021年より将棋にはまっています。現在、将棋のアマチュア2段。自分自身が新たな分野を勉強することにより、初学者がどのような指導を望んでいるか、どういったことを学びたいか、思うような成果が出ないときにはどのようにモチベーションを保つか、なども考えるようになり、それらが日々の学習指導にも活きています。



少しでも多くの学びの機会を

学びというのは何も授業だけではありません。小テストや演習プリントで扱う問題や例文、授業中のちょっとした雑談、休み時間中のコミュニケーションなど、学びの機会はいくらでも創出できます。取り上げる話題や使用的な語彙まで、常に生徒たちの知的好奇心を刺激できるよう心掛けている。それらを学びにするには子どもたちの主体性が欠かせませんが、それを育てるのも我々講師の役目だと思っています。



多様なジャンルに造詣が深い

大学受験まで通用する論理的な文章読解のメソッドを生徒たちに伝えています。卒塾後の生徒から大学受験後に感謝されることも。知識面では、様々なことに対して常にアンテナを張っているため、多種多様なジャンルに造詣が深く、その知識や経験を活かした授業によって、生徒たちに新たな視点や知的な感動を提供できるよう努めています。



趣味：趣味を増やすこと

「知らない」「やったことがない」というのが嫌いで、なんでもとりあえずやってみたくなってしまう性分です。サッカーを12年、水泳を9年、バンドを8年、ダンス(poppin')を5年やっていました。小学生の頃にやっていたHPづくり遊びは、塾のHP作成にも活きています。その他さまざまな趣味で培った経験は今でも様々なところで活きているように思います。最近の趣味はダーツと釣り。釣りで釣った魚は自分でさばいて調理します。

私が授業において大切にしていることが2つあります。1つは“思考のプロセス”です。ただ答えが書ければよいのではなく、答えに至るまでの論理をいかにして組み立てていくか、それがわかるような板書を心がけています。国語を通して、知識を“活用する力=論理的思考力”を身に着けてほしいと考えております。もう一つは、“知識欲の刺激”です。知識は多ければ多いほど人生を豊かにします。知識・教養の網の目が細かければ細かいほど、未知の情報を感受しやすくなるのです。ですから、受験に直接必要のない知識・雑学も積極的に提供します。無知を恥じ、かつ無知を愛せる、そんな人間を育むことができるような授業を心がけます。



副塾長

生田目佳祐

略歴

- ・大手集団授業塾で10年にわたり指導（うち校長を2年）
- ・2016年 全国模擬授業大会出場
- ・2019年 全国模擬授業大会出場、国語部門で全国の塾講師の頂点に



指導力のあるスタッフ、
あたたかいスタッフが指導にあたります。